

計画の名称	野洲市中心市街地における流域一体となった総合的な浸水対策の推進、生活環境の改善と安心・安全の確保、災害に強いまちづくり（その2）			重点配分対象の該当	
計画の期間	平成28年度 ～ 平成32年度（5年間）	交付対象	滋賀県野洲市		
計画の目標					
下水道整備を行い快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。 下水道施設の可能な限りの延命化に努めつつ、適正な機能確保のため老朽化した管渠・ポンプの改築更新を行うことで効果的な安全・安心の確保を図る。 集中豪雨の多発や都市化の進展に伴う被害リスクの増大に対し、流域が一体となって総合的な浸水対策を実施することにより、水害に強い都市を作るとともに、安心安全な市民生活の確保を図る。 安心・安全、快適な暮らしを実現し良好な環境を創造する。					

計画の成果目標（定量的指標）					
①	老朽化した既設污水处理施設の下水処理場への統合等下水道処理人口普及率が93. 5%(H27)から96. 7%(H32)に向上				
②	下水道マンホールポンプの老朽化対策率が54. 8%(H28)から80. 6%(H30)に向上				
③	下水道マンホール蓋更新の計画策定を行い老朽化対策率を2. 9%(H28)から4. 9%(H32)に向上				
④	下水道による都市浸水対策の達成率が0%(H28)から1. 9%(H32)に向上				

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値						備考
	当初現況値		中間目標値		最終目標値		
	(H28当初)		(H30末)		(H32末)		
①下水道の処理人口普及率	H28当初		H30末		H32末		
下水道を利用できる人口（人）/総人口(人)	47, 485/50, 768		48, 298/50, 768		49, 110/50, 768		93. 5%
②マンホールポンプにおける長寿命化対策率	H28当初		H30末		H32末		
長寿命化対策済みのマンホールポンプ数（基）/長寿命化対策をすべきマンホールポンプ数（基）	17/31		25/31				54. 8%
③マンホール蓋における長寿命化対策率	H28当初		H30末		H32末		
長寿命化対策済みのマンホール蓋数（基）/長寿命化対策をすべきマンホール蓋数（基）	281/9758		381/9758		481/9758		2. 9%
④都市浸水対策を実施すべき区域の面積のうち、概ね10年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全であるよう下水道整備が完了している区域の面積の割合。							
下水道による都市浸水対策達成率（%）							0. 0%
=（概ね10年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全である区域の面積(32. 9ha）） / （都市浸水対策を実施すべき区域の面積(1, 744. 0ha））							1. 7%
							1. 9%

全体事業費	合計 (A+B+C+D)	1, 182 百万円	A	1, 182 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	D	0 百万円	効果促進事業費の割合 C／（A+B+C+D）	0%
-------	-----------------	------------	---	------------	---	-------	---	-------	---	-------	---------------------------	----

交付対象事業																			
A 下水道事業																			
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
											H28	H29	H30	H31	H32				
1-A1-1	下水道	一般	野洲市	直接	-	汚水	新設	湖南中部処理区関連 污水管の整備	管渠整備 φ100・200 L=6.2km	野洲市						392		-	
1-A1-2	下水道	一般	野洲市	直接	-	汚水	改築	野洲市公共下水道長寿命化対策実施	マンホールポンプ 8箇所	野洲市						15		策定済	長寿命化
1-A1-3	下水道	一般	野洲市	直接	-	汚水	改築	野洲市公共下水道長寿命化対策実施	マンホール蓋 150箇所	野洲市						45		未策定	長寿命化
1-A1-4	下水道	一般	野洲市	直接	-	汚水	改築	野洲市公共下水道長寿命化計画策定	管路施設 （マンホール蓋）	野洲市						10		策定中	長寿命化
1-A1-5	下水道	一般	野洲市	直接	-	雨水	新設	童子川排水区 雨水渠の整備	雨水整備 雨水渠 4500×1400他 L=850m	野洲市						700		-	
1-A1-6	下水道	一般	野洲市	直接	-	雨水	新設	効率的な施設計画の見直し	施設計画の見直し	野洲市						10		-	
1-A1-7	下水道	一般	野洲市	直接	-	汚水	新設	効率的な施設計画の見直し	施設計画の見直し	野洲市						10		-	
合計																1,182			

B 関連社会資本整備事業（該当なし）													全体事業費 （百万円）	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）							
										H28	H29	H30	H31	H32			
合計													0				

C 効果促進事業																
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H28	H29	H30	H31	H32		
													0			

[illegible]

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H28	H29	H30	H31	H32		
合計														0		

[illegible]

(参考様式2) 社会資本総合整備計画

平成29年2月6日

計画の名称	野洲市中心市街地における流域一体となった総合的な浸水対策の推進、生活環境の改善と安心・安全の確保、災害に強いまちづくり（その2）			重点配分対象の該当
計画の期間	平成28年度 ～ 平成32年度（5年間）	交付対象	滋賀県野洲市	
計画の目標	下水道整備を行い快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。 下水道施設の可能な限りの延命化に努めつつ、適正な機能確保のため老朽化した管渠・ポンプの改築更新を行うことで効果的な安全・安心の確保を図る。 集中豪雨の多発や都市化の進展に伴う被害リスクの増大に対し、流域が一体となって総合的な浸水対策を実施することにより、水害に強い都市を作るとともに、安心安全な市民生活の確保を図る。 安心・安全、快適な暮らしを実現し良好な環境を創造する。			

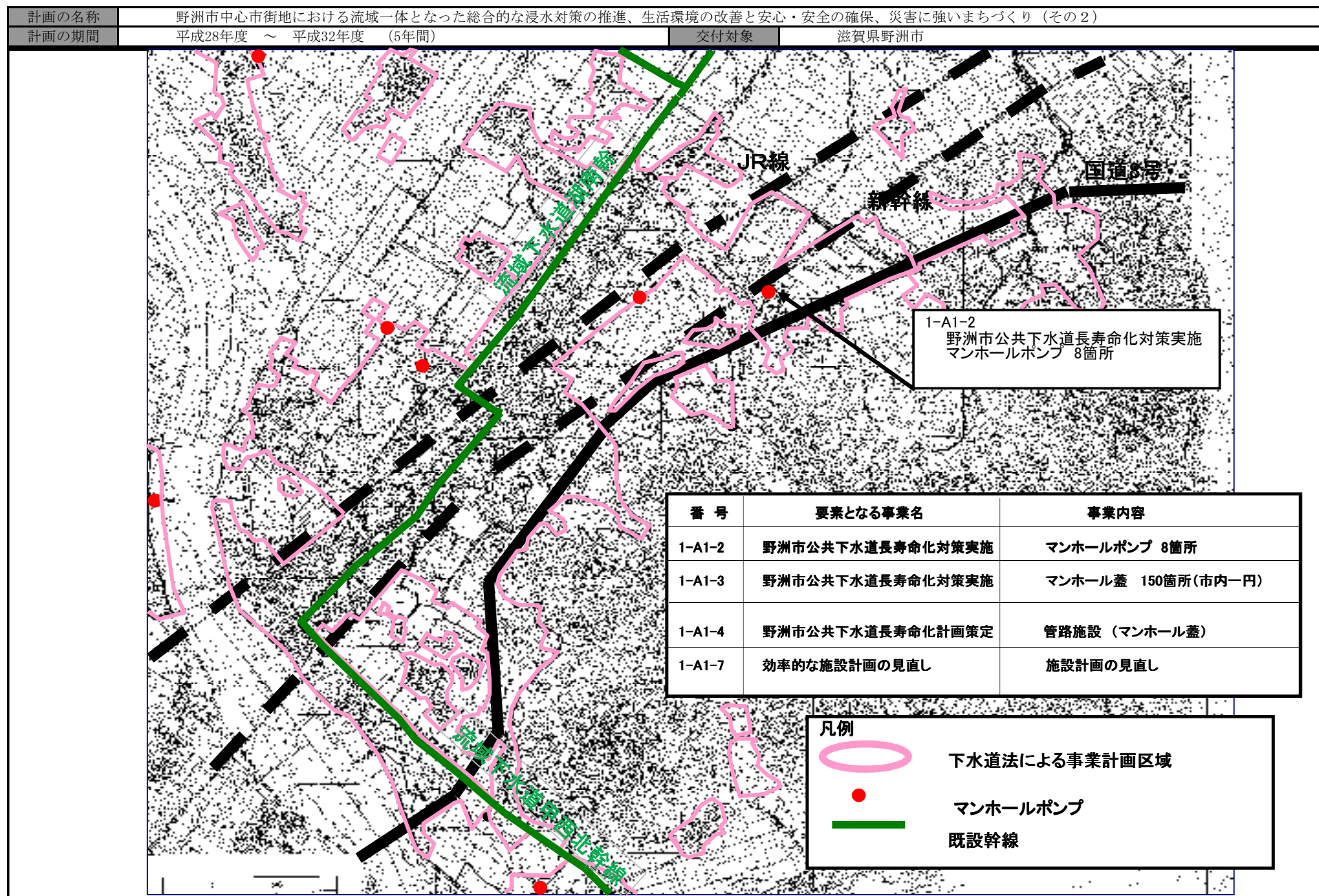
交付金の執行状況

（単位：百万円）

	H28	H29	H30	H31	H32
配分額 (a)	106.0				
計画別流用 増△減額 (b)	0.0				
交付額 (c=a+b)	106.0				
前年度からの繰越額 (d)	14.8				
支払済額 (e)					
翌年度繰越額 (f)					
うち未契約繰越額 (g)					
不用額 (h=c+d-e-f)					
未契約繰越+不用率 (i= (g+h) / (c+d))					
未契約繰越+不用率が10%を超えている場合その理由	-				

※ 平成28年度以降の各年度の決算額を記載。

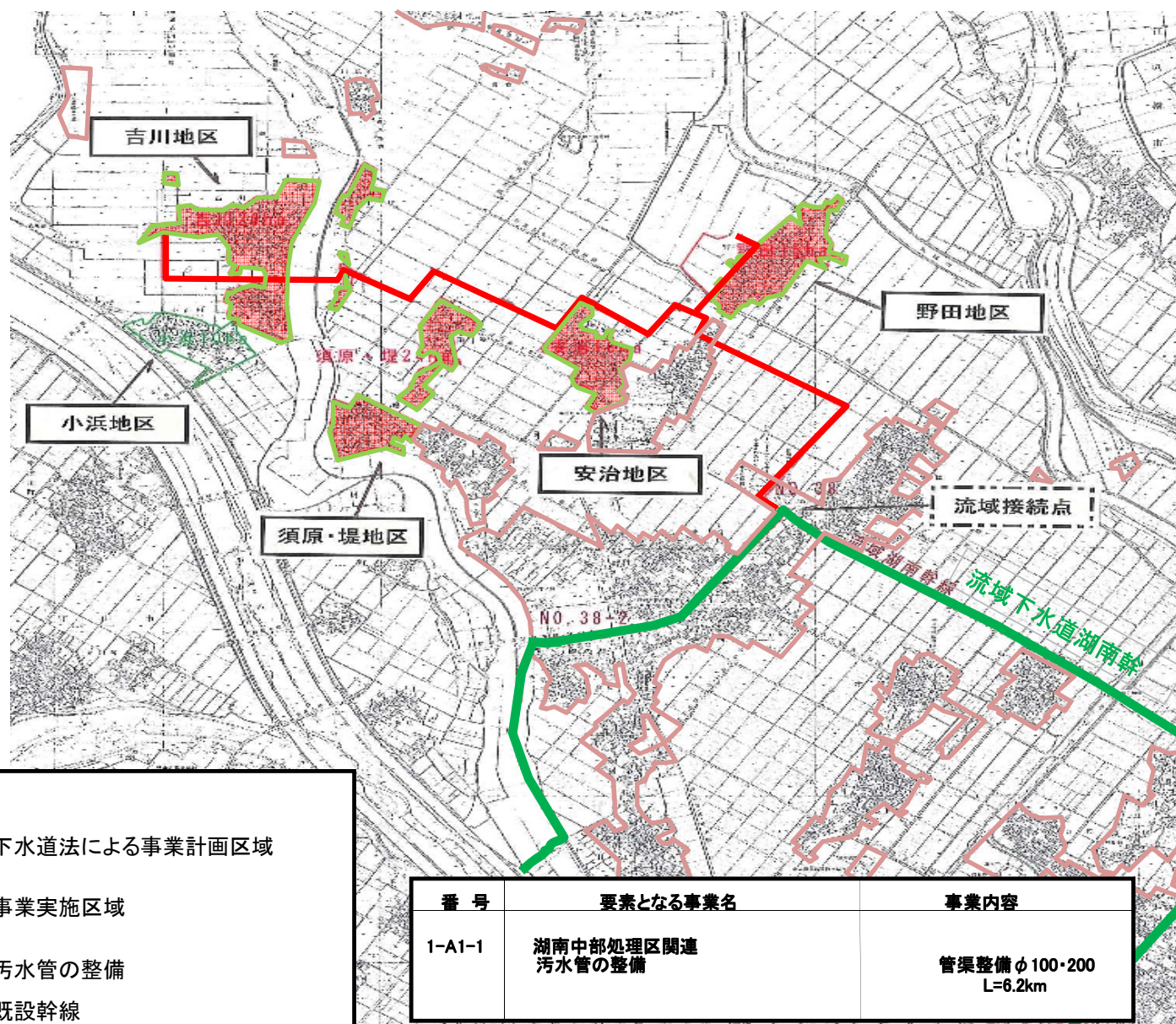
水の安全・安心基盤整備



(参考様式3)

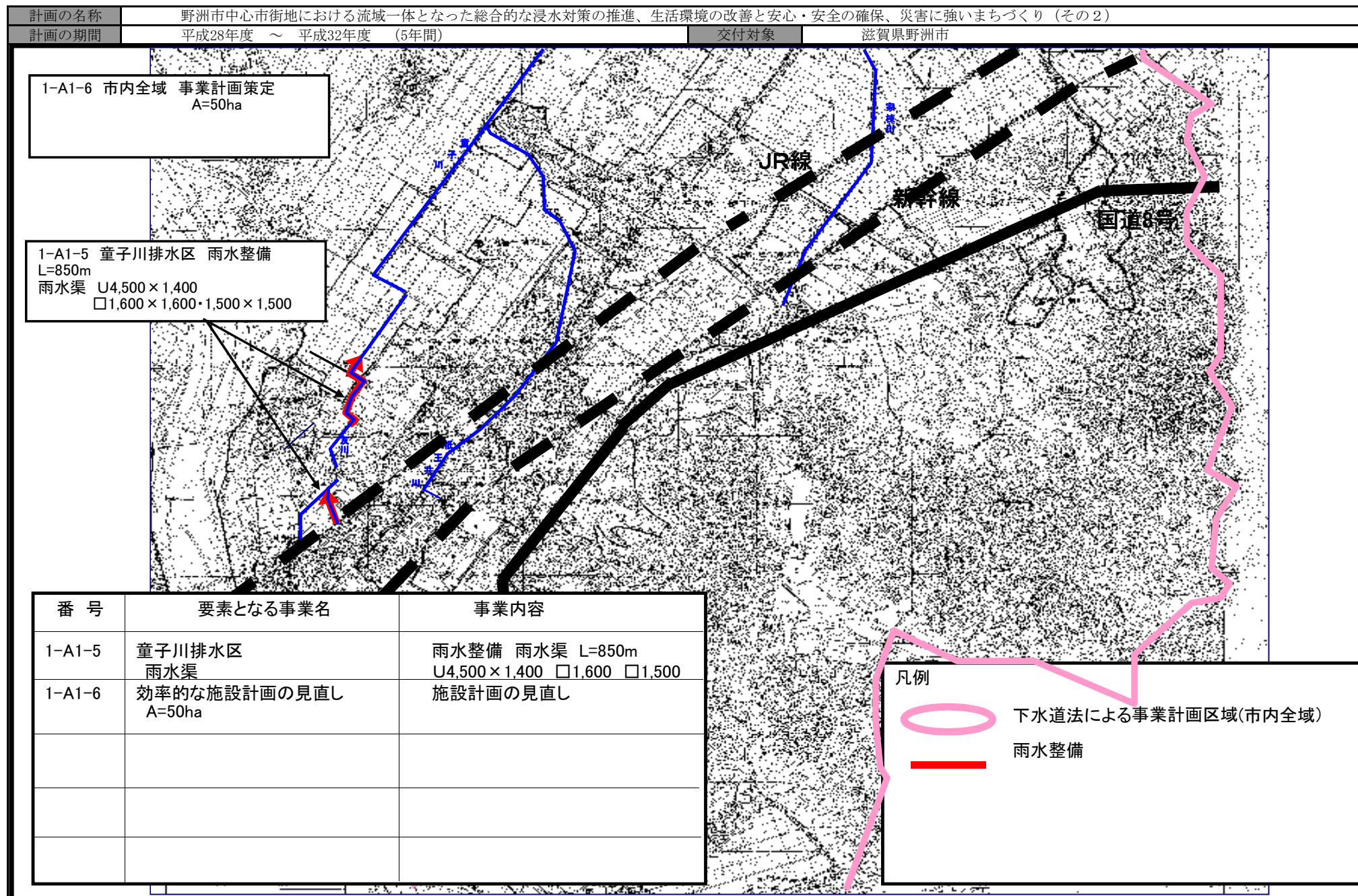
水の安全・安心基盤整備

計画の名称	野洲市中心市街地における流域一体となった総合的な浸水対策の推進、生活環境の改善と安心・安全の確保、災害に強いまちづくり（その2）		
計画の期間	平成28年度 ～ 平成32年度（5年間）	交付対象	滋賀県野洲市



(参考様式3)

水の安全・安心基盤整備



社会資本総合整備計画チェックシート

(滋賀県野洲市下水道事業(汚水))

注・※の名称、野洲市中心市街地における定域一井となった総合的な排水施設の推進、生活環境の改善と安心・安全の確保、更なる強いまちづくり(その2)

事業主体名:野洲市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①基本方針・上位計画等との適合等	
1)基本方針(汚水処理施設整備構想、流経計画等)と適合している。	☐
2)上位計画(事業認可等)と整合性が確保されている。	☐
②地域の課題への対応	
1)地元情勢の変化を踏まえている。	☐
2)社会経済情勢を捉え、適正な計画となっている。	☐
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	☐
2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	☐
3)目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	☐
4)指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	☐
④事業の効果	
1)費用対効果について十分に効果がある。	☐
2)事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	☐
III. 計画の実現可能性	
⑤円滑な事業執行の環境	
1)供用開始区域の接続率の向上が見込まれる。	☐
2)計画の具体性など、事業の熱度が高い。	☐
3)地元住民の同意や要望がある。	☐
4)事業実施のための環境整備が図られている。	☐

(樂賢學野洲市下水道事業(雨水))

事業主体名: 堺市

I. 目標の妥当性	
①基本方針・上位計画等との適合等	
1)基本方針と適合している。	○
2)上位計画(事業認可等)と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応	
1)地元情勢の変化を踏まえている。	○
2)社会経済情勢を捉え、適正な計画となっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3)目標及び事業内容と計画区域との適合性が確保されている。	○
4)指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
④事業の効果	
1)費用対効果について十分に効果がある。	○
2)事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤円滑な事業執行の環境	
1)計画の具体性など、事業の熱度が高い。	○
2)地元住民の同意や要望がある。	○
3)事業実施のための環境整備が図られている。	○